

たすけあいセンター

JÜNTÖS!通信

JUNTOSは ポルトガル語で "いつしよに"

日本語版

2016.1.4 発行

No.**20**



みんなで共に助け合おう! 地域復興のための拠点「JUNTOS」

生活再建や地域復興に向けて、片付け機材の貸出・困りごとの相談・常設型の地域交流スペース を運営中!

~ どこの国の人も気持ちは一緒だよ ~



被災された方対象の支援一覧

建設・購入の場合

定以 粉八ツ物口								
	災害救助法	被災者生活	再建支援法	常総市被災者生活	**************************************	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		兴 松子辛顿
判定	応急修理制 度	基礎支援金	加算支援金	再建支援事 (半壊 世帯支援)	茨城県災害見 舞金	次城宗義抜 金	常総市災害見舞 金	吊総巾莪抜 金
床上浸水あり、半壊 に至らず					2万円	25万円	2万円 1万円(#2)	
半壊				25万円(#1,3)	(3万円)#3	25万円	3万円 1.5万円(#2)	8万円
大規模半壊		50万円(#1)	200万円(#1)			25万円	3万円 1.5万円(#2)	8万円
全壊		100万円(#1)	200万円(#1)			1 5U 77 PH	5万円 2.5万円(#2)	16万円

補修して住む場合

	災害救助法	100 00 00 100 100	5再建支援法	常総市被災者生活	茨城県災害見		常総市災害見舞	世 公古美垤
判定	応急修理制 度	基礎支援金	加算支援金	再建支援事業(半 壊世帯支援)	舞金	金	金	金
床上浸水あり、半壊 に至らず					2万円	25万円	2万円 1万円(#2)	
半壊	56.7万円			25万円(#1,3)	(3万円)#3	25万円	3万円 1.5万円(#2)	8万円
大規模半壊	56.7万円	50万円(#1)	100万円(#1)			25万円	3万円 1.5万円(#2)	8万円
全壊	56.7万円	100万円(#1)	100万円(#1)) 5U /J EH	5万円 2.5万円(#2)	16万円

賃貸に転居の場合

	災害救助法		后再建支援法	常総市被災者生活		茨城県義援 金	常総市災害見舞金	常総市義援金
判定	応急修理制 度	基礎支援金	加算支援金	再建支援事業(半 壊世帯支援)				
床上浸水あり、半壊 に至らず					2万円		2万円 1 万円(#2)	
半壊				25万円(#1,3)	(3万円)#3	25万円	3万円 1.5万円(#2)	8万円
大規模半壊		50万円(#1)	50万円(#1)			25万円	3万円 1.5万円(#2)	8万円
全壊		100万円(#1)	50万円(#1)				5万円 2.5万円(#2)	16万円



「ぬくもりのバトン」プロジェクトに寄せられた、常総市民の声

多くの市民の皆様に「ぬくもりのバトン」プロジェクト(右ページ参照)にご参加いただいています。 現在71世帯に毛布を届け、37世帯からお声をいただきました。一部をご紹介します。

①9月10日から今までどのように過ごしてきましたか

- 数日、水に浸かった品々、家、何もかもダメ、涙さえ出なかった。9月10日より避難所生活。工事中の自宅と 避難先を往復しているだけ。
- 9月10日につくばの避難所へ行き、その後親せき宅へお世話になり、長引くことが分かったので、両親は壊れたままの家で、子供と私たちはとりあえず小さな部屋を借りました。今現在もその状態です。
- あすなろへ13日に避難(手をケガしたので)。家族と小絹へ行くが骨折してしまい家族にすまない気持ち。病院へはボランティアに送迎してもらった。自宅は1月中旬から大工が入る。
- 避難所と自宅を雨の日以外、毎日毎日往復して家の中の片付けと家のまわりのガレキなどの片付けをしていました。私、何をしているんだろうとふと手を止め、悲しい毎日を送ってきました。東北の被災者の気持ちが少しわかったような気がする。

②生活はどこがどう変わりましたか

- 家で毎日忙しく3か月たったのに何も変わっていない。
- 家族がバラバラになり、何もかもなくし、一人になり、話し相手もなく、寂しい夜を過ごすことになりました。何となく不安です。
- 人間的に皆様や自分も暗い毎日の暮らし送る。顔で笑って心で泣く人が多いことがよくわかりました。
- 一変の一語に尽きます。
- かわいがっていた犬が死んでしまい、何でと思うことが多くあります。何で私だったんだろうとか、何が悪かったのだろうと思う事だらけです。

③うれしかったこと、つらかったことはなんですか

- 体育館では被災者どうしのあいさつ、助け合いなど今までの人生で最も心に残るいい体験をしました。又辛かったことを言えば、一人一人の気持ちを知りその人に合わせないと生活ができないことです。
- 近所のつながり、人とのつながりのありがたさ、の反面冷たさも。市役所でも事務的だし、職場でも他人事、 わからない人にはわからないのだろう。
- ボランティアさんの温かい接し方非常に嬉しかった。
- 一人身の中避難所で知り合い家庭的家族的な出会いがうれしかった。

4 今回学んだことや教訓はどんなことですか

- 人に助けられる有難さと難しさ。人様のご厚情が身に染みました。今後、反対の立場になったときは進んで、 率先して、力を貸してあげたいです。
- いつもの備えをしておくこと。家族の絆が大切。
- 人間らしい心。思い遣りです。一番大事なことは。
- 洪水が起きそうになったときは油断しない。早めに災害に備えて準備する。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

- 老後のためにとっておいたお金は全部家の修理にかかってしまいました。この先のことを考えるとどうしていいのかわかりません。
- 今回リフォームしたが、高台に家を買う人もいる。このまま住んでいて大丈夫だろうか。
- 大雨と聞くとすごく不安になる。
- 県営住宅も2年しかいられないので市営住宅に入りたいのですが入れるかどうか心配です。
- 帰ってからのこと。家がまわりにポツ・ポツとなった。こわしてしまって。これがこわい。ひとりぼっちになる。買物が遠い。



⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

- •住民同士のコミュニケーションがとれるようになればいいとおもいます。
- •若い人たちが常総市から他の市町に出ていくのを聞くととてもさびしいです。
- •再生には、やはり改修するための資金。被害の程度の差があるが、被害の大きい家では再生するため常総市外に転移しないような対策を考えてほしい。
- •人が集まるような大きな事業を誘致して活気ある町にすることで復興につながると思います。常総市に住んでいるメリットを感じたいです。
- ・再生は町の中に、むずかしい事だが、映画館を作る事と町の中とその近くを大型バスではなく10~15人位乗れるバスを30分~1時間の間に一本位走らせる事も必要と思う。

⑦行政に望むことはなんですか

- •私達はいままできまった税金をはらうため一生けんめい働いてきました。これからは安心して生きていけるようにしてほしいです。
- •また洪水がおきないようにしてほしい
- •いろいろな情報は被災地全体に届くように
- •今後同じような事があった場合、避難指示や支援制度を私たちに早く正確に伝える方法を考えてもらいたい。宣伝カーを出すとか、町内会の中で、連絡する人を数人決めておくとか。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします

- •顔で笑って心で泣く常総市の皆さんの気持ちです。
- •必要なもの、必要な作業をきちんとみんなの声をきいて行動してほしい。
- 全国からのボランティアさんに手伝っていただいて大変助かりました。有難うございました。
- 災害にあわれなかった人達から他人事と思ってほしくないです。

「ぬくもりのバトン」プロジェクトにご参加ください!

「ぬくもりのバトン」プロジェクトとは?

9月10日の水害から3か月がたちました。街の風景は水害前に戻ったように見えますが、工事中の自宅と一時避難先を往復している世帯、元の住まいや避難所からまた慣れないところに移られた世帯にとって避難生活はまだ続いています。常総市民のくらしの再生には、市民同士が互いの状況や思いを共有すること、そして住民ひとりひとりができることで参加し、つながることが大切だと思います。そこで、皆さんに被災後どのように過ごし、どんな想いで過ごしているのか、メッセージをお寄せいただき、寄せられた体験や今の想いを、冊子など見える形にして、常総市民や支援いただいた方に伝えていきたいと思います。カンパを募って購入した電気毛布を、この活動にご参加いただける世帯にお届けします。(電気毛布には限りがありますので足りない場合は別の物になることもあります)

参加方法

JUNTOSにお電話いただくか、来所してスタッフにお尋ねください!電気毛布とともに、記入用紙をお届けします(記入用紙は後日郵送してくだされば大丈夫です)。

3: 0297-44-4281 FAX: 0297-44-4291



お知らせ

「水害被災者向け確定申告セミナー」

平成27年9月関東・東北豪雨によって被害にあった一般家庭向けの年度末確定申告のための税理士によるセミナーを無料にて開催します。お金に関するお悩みの方はご参加ください。

日時 1月9日(土)

会場 水海道森下町「助け合いセンターjuntosのサロン

定員 各部先着15名(予約優先)

申込み 080-2059-4322(本橋)

<第1部>13:30~開催(13:15~受付)

<第2部>16:00~開催(15:45~受付)

常総市復興ビジョン「市民の意見」受付中

12月15日、市復興ビジョン懇話会が、3回の議論を経てビジョンを取りまとめ市に報告しました。基本理念は「川と向き合い、川とともに育ち、「住みたい」を大切にする常総」。市のホームページに内容と議事録が掲載されていますので、住民の皆さんの率直なご意見を市に伝えましょう。その声を踏まえ今後の復興計画が作られることになります。

住宅修理の相談受付中

企業名	所在地	ជ
(株)環境開発	つくば市	029-836-3510
飯塚建築設計事務所	常総市	029-742-1951
福島建築工業(株)	土浦市	029-822-7092
(有)アイライクホーム	土浦市	029-835-3052
(有)マルサ企業	取手市	0297-86-7585
(有)アイネットサービス	牛久市	0298-74-8778
(株)坂巻兄弟建設	守谷市	0297-48-5057
茨城大工棟梁の会	常陸大宮市	0294-33-6655

復旧復興に関わる団体の情報交換会

日時 1月9日(土)10時~12時

会場 常総市役所(本庁舎)市民ホール

相談、家の片付けや引越し、物資のお届けなど生活復 旧に関する活動、サロン、イベント企画など街の復興に 関する活動を実施、検討している皆さん、お集まりくだい。

いつしょに、「助け合い」で地域を再生しましょう!

活動分野	最近の動き	参加募集してます
J (情報)	11月29日に、ラジオを通じて市民がつながる、をテーマに井 戸端会議を開催。市民の声や街の動きを伝えるための市民に よる市民のためのラジオ番組を作るため準備中。	・番組作りの協力者大募集。 話したいこと、伝えたいこと がある方気軽にご連絡ください
U(運転)	12月23日に開催した送迎ボランティア講習会を21名が受講。学校に毎日送迎している約200世帯向けのアンケートを実施。通学に関する課題を市に届け、移動支援を拡大します。月1万円で使える車(カーシェア)の普及も継続中	・運転免許があれば動ける時間 で活動できます。月数回で可 ・複数世帯で車を共有するカー シェアの利用者も募集中
N(直し隊)	水海道森下町で複数の空家の改修し、学習支援や地域の集会に使えるよう整備中。軽トラや機材の貸し出しも継続中。	・日曜大工、リフォームの手伝 いをしてくださる方募集中
【【届け隊)	電気毛布や支援物資を各世帯に届けながら、住民の声を集め発信する「ぬくもりのバトン」プロジェクトを実施中	・物資の仕分けや自宅に届ける ボランティアを募集中
(お話しし隊)	12月26日につくば市の公営住宅に避難している方向けの茶 話会を開催。常総市内で行われるサロンに、机や椅子、テン トなどを貸し出したり、ボランティアをコーディネート	・juntos の会場を使ってサロン やイベントを開きませんか ・話を聞くボランティアも募集中
S (共に住み隊)	12月16日に孤立防止と住まいの確保をテーマに集いを開催。福祉医療関係者の連携や、人口流出を防ぐための方策について話し合いました。空家を活用した福祉長屋(ケアつき共同住宅)を民間の知恵で作るため、継続して検討していきます。	・空家、空きアパートを改装して 高齢者も安心して暮らせる共同 住宅を作ることに関心のある方 ご連絡ください。

※ その他、12月20日から2月末まで、NPO法人茨城教育ネットワークのご協力により、中3生向け無料の学習支援も実施中。

発行: たすけあいセンター「JUNTOS」

(運営:認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ)

常総市水海道森下町4346-3 エルバ水海道 常総線「北水海道駅 」 近く

T: 0297-44-4281 FAX: 0297-44-4291

時間:午前10時~午後4時半(新年は1月5日より業務を開始します)

